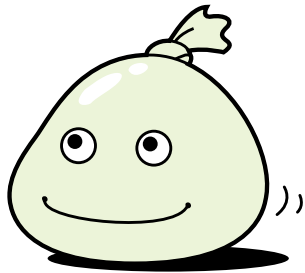


府中のごみ



主な記事

- 2・3面…市のごみの現状、収集方法の見直しについて
- 4面……地域ごみ対策推進員の活動、ごみ減量に関するお知らせ

環境にやさしいまち



JQA-EM2175
府中市役所で実施する事務事業

発行：府中市 編集：ごみ改革推進本部ごみ減量推進課
発行日：平成20(2008)年 9月4日



①ほっとするね緑の府中
府中市

〒183-8703 府中市宮西町2-24
電話：042-335-4968 (直通)
FAX：042-336-5181
Eメール：risaikuru01@city.fuchu.tokyo.jp

環境と未来のために ごみを減らします!



◀ダストボックスに出されたごみと資源の選別作業 (リサイクルプラザ)



市では、資源循環型社会の実現を目指して、環境基本計画に掲げた「10年間でごみ50%削減」を達成するため、引き続き府中市廃棄物減量等推進審議会からの答申を尊重するとともに、市民の皆さんのご意見を聞きながら、ごみの収集方法の見直しも含めて、ごみの減量化を進めるための新たな仕組みづくりを検討しています。

このごみ情報紙「府中のごみ」で、市のごみの現状などを紹介し、市民の皆さんとともに、ごみの減量化を進めていきたいと考えています。

資源循環型社会を
目指して



府中市長 野口 忠直

私たちは、豊かで快適な生活を営んできましたが、その一方で大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会を生み出しました。このような社会は、廃棄物の大量発生を伴い、不法投棄や最終処分場の残余容量のひっ迫など、廃棄物をめぐる様々な問題を引き起こし、地球全体では、地球温暖化、自然環境破壊などの環境問題を発生させています。

これらの問題を解決するため、私たちも「便利が一番」という考え方を大きく変える時が来たのではないのでしょうか。

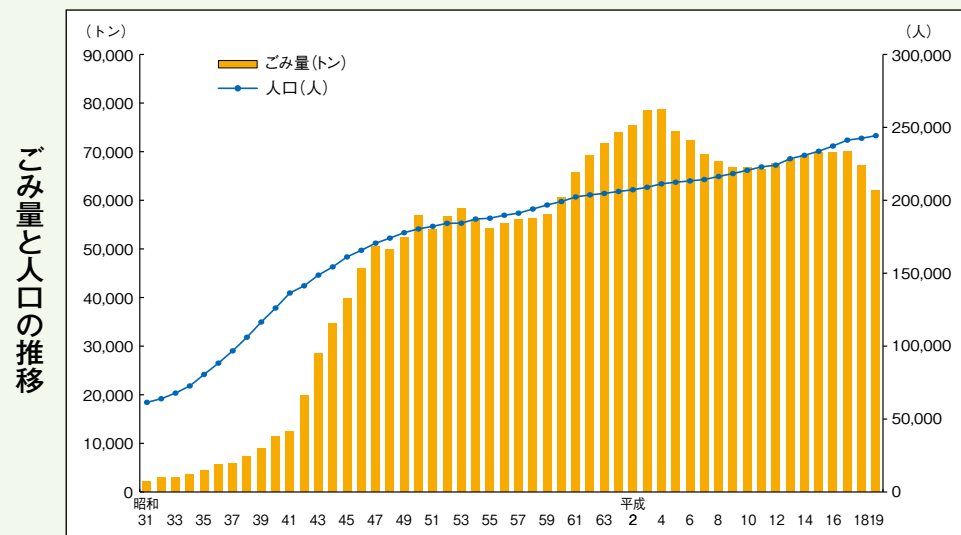
環境問題に大きくかかわるごみ問題については、これまでの便利さだけでなく、次世代の人たちや将来の地球環境を考慮したごみ減量施策の展開が特に必要です。

そのような点からも、ごみ収集方法の見直しは、これからの大きな課題であると考えています。

今回発刊いたします「府中のごみ」などを通じて、市民・事業者の皆さんとごみに関する情報を共有し、市民・事業者・市が一体となってごみ問題に取り組んでいかなければと考えています。

市のごみ・資源の量ってどのくらい？

市では、昭和31年にごみの収集を開始してから、市民の皆さんの資源化への取組みにより、一時的にごみが減量されることはあるものの、人口の増加や生活様式の変化などによって、全体的にごみは増加し続けています。ただし、平成18年度・19年度は、燃やすごみや事業ごみが減ったことにより、ごみ量は減っています。



●平成19年度、ごみ量は減りました

平成19年度は、18年度に比べて、ごみ量全体で約5,000トンの減量となりました。これは、市民・事業者の皆さんの環境問題への関心が高まり、ごみ減量の取組みにつながっているのではないかと考えています。

●府中市のごみは多摩地域で何番目に多いの？

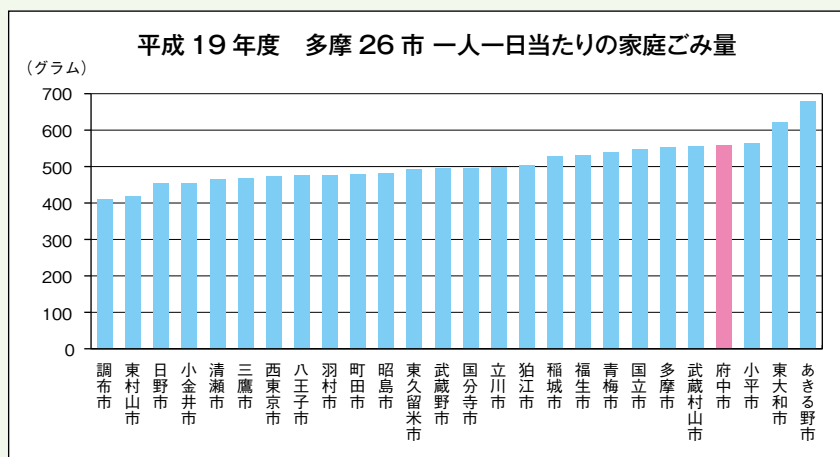
平成19年度は、家庭から出るごみ量では4番目（平成18年度は3番目）に多い状況となり、家庭から出るごみに事業ごみを合わせたごみ量では8番目（平成18年度は3番目）に多いという状況になりました。平成19年度は、ごみ量が減少したものの、依然として多摩地域の中では、ごみ量が多い状況です。

平成19年度のごみ量 単位:トン

	燃やすごみ	燃やさないごみ	事業ごみ	粗大ごみ	合計
平成18年度	41,917	9,070	14,329	1,781	67,097
平成19年度	39,615	8,446	12,169	1,748	61,978
増減率(%)	-5.5	-6.9	-15.1	-1.9	-7.6

平成19年度の資源量 単位:トン

	古布類	紙類	びん	缶	ペットボトル	合計
平成18年度	706	5,768	2,067	811	578	9,930
平成19年度	784	5,450	2,138	799	693	9,864
増減率(%)	10.9	-5.5	3.4	-1.5	19.9	-0.7

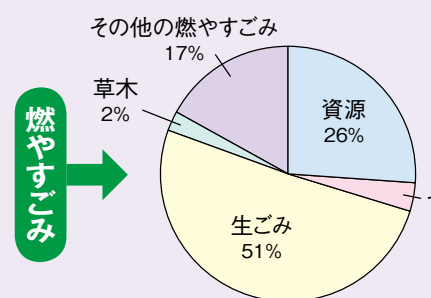


※あきる野市のみ事業ごみ含む

ダストボックスの中身は…？

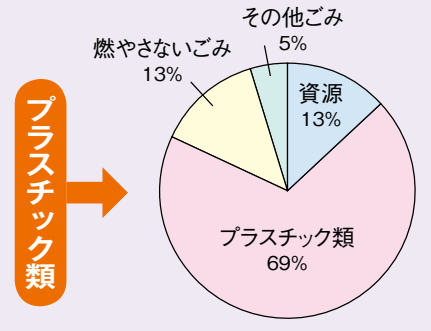
市では、家庭ごみの排出状況を把握するため、ダストボックスの中身の分析調査を実施しています。平成19年度は、みどりのダストボックス（燃やすごみ）、オレンジのダストボックス（プラスチック類、燃やさないごみ）のごみについて、それぞれ約170kgを分析しました。

●みどりのダストボックス (設置数=約8,300個)



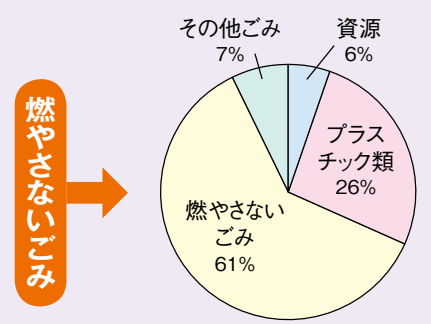
生ごみが50%以上と一番多くなっています。また、リサイクルできる紙や布などの資源が26%もごみとして捨てられています。

●オレンジのダストボックス (設置数=約6,700個)



プラスチック類を出せる期間には、ペットボトル・缶・びんなどの資源が13%入っていました。燃やさないごみや粗大ごみなどを合わせると全体の約30%が本来入れられないルール違反のごみとなっていました。

●燃やさないごみを出せる期間



燃やさないごみを出せる期間には、プラスチック類が26%入っているのを始めとして、資源などを合わせると全体の約40%が本来入れられないルール違反のごみとなっていました。

平成19年度は、ごみ量は減少しましたが、ダストボックスの中身を見ると、ごみと資源の分別はまだまだ徹底されていないと言えます。まだまだごみを減らせる余地が残っています。特にみどりのダストボックスには、資源であるチラシやお菓子・ティッシュの箱、封筒などの雑がみがたくさんごみとして捨てられています。これを資源として分別するだけでも相当な量のごみが減量できると考えています。



市民の皆さんも一緒にごみの分析を実施しています。

ごみにどのくらいのお金がかかっているの？

●ごみにかかわる経費は 約56億円

平成19年度のごみにかかわる経費は、市全体の経費の7%にあたる約56億円となっています。そのうちの約50億円は、ごみ・資源の収集費用や処理費用、施設の運営費などにかかっています。そのほかに人件費などに約4億円、集団回収の奨励金やごみ減量の啓発費用に約2億円かかっています。

平成18年度と比較すると、ごみにかかわる経費は約13億円増加しました。これは、二枚橋衛生組合の焼却炉の閉鎖に伴い、新たに多摩川衛生組合へ市全域のごみを搬入するための負担金や事業ごみを民間の処理施設で処理するための費用などが増加したことが主な原因です。

●市民一人当たりのごみ処理経費は 約11,000円

平成19年度は、ごみ処理経費が年間一人当たりで約11,000円かかっています。これは、平成18年度と比べると、約1,500円も増加しています。ごみを減量し、多摩川衛生組合で燃やすごみのすべてを処理することで経費の削減が図られます。

●多摩川衛生組合で処理しきれないごみの処分費は 約2億3,700万円

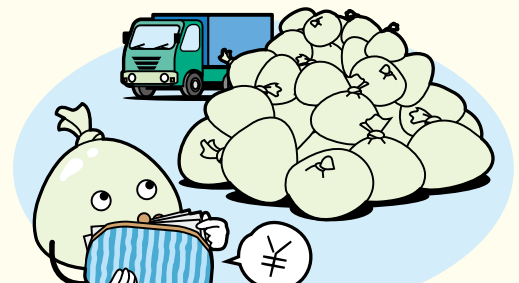
平成19年4月から、多摩川衛生組合で市全域のごみ処理を行っています。多摩川衛生組合の焼却炉の焼却能力には限度があるため、平成19年度は、事業ごみなどを合わせた約4,000トン、埼玉県にある民間処理施設で処理を行いました。

また、多摩川衛生組合の焼却炉の点検の際には、立川市に約1,700トンの燃やすごみの処理をお願いしました。

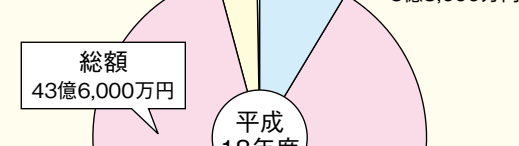
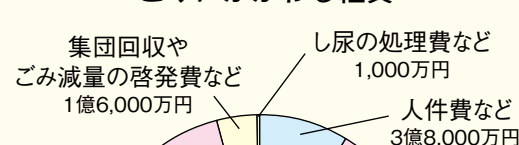
市から出るすべてのごみを多摩川衛生組合で処理できるように、ごみの減量にご協力をお願いします。

処理しきれないごみ量及び処分費

	搬出量(トン)	金額
埼玉県民間処理施設	4,004	169,902千円
立川市	1,666	66,632千円
合計	5,670	236,534千円



ごみにかかわる経費



調布市で積み替え作業を行い、埼玉県へ搬入していただきます(調布市一般廃棄物積替施設の様子)

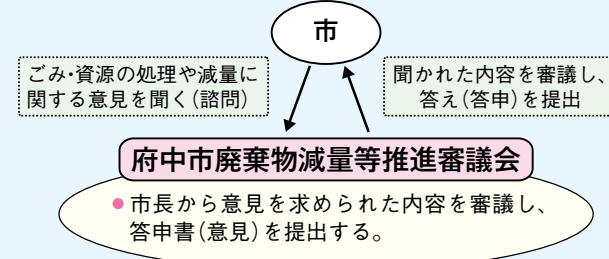
ごみの収集方法の見直しについて

市は、平成17年に資源循環型社会を実現するために、どのようにごみを減らしていけばよいか、府中市廃棄物減量等推進審議会に意見を求めました。2年近くの審議の末、審議会より平成19年1月に市に答申がされました。

市では、この答申を尊重しつつ、市民の皆さんのご意見をお伺いしながら、ごみの収集方法の見直しを検討しています。

▶府中市廃棄物減量等推進審議会とは…

重要なおごみ減量施策や処理の方法について、市だけで検討を行うのではなく、様々な立場で幅広い角度から検討するために、市民(8人)、事業者(4人)、学識経験者(3人)の15人で構成された審議会。任期は2年間。



▶答申のあらまし

資源循環型社会の実現のためには、次の収集方法の見直しなどを柱としたごみ減量への取り組みが不可欠であるとしています。

- 家庭ごみの有料化
- 戸別収集の実施
- ダストボックスの撤去

審議会では、家庭ごみの有料化は、多摩地域での有料化実施市の状況などから、最も効果的なごみ減量施策としています。また、有料化を実施する場合、ダストボックスを利用したままでは、だれが出したごみかわりにくく、市の指定袋を利用しないなどルール違反のごみへの対応が困難となることから、収集方法については、ダストボックスを撤去し、戸別収集を実施すべきだとしています。

▶多摩地域のごみの収集方法



【ダストボックス】

15~20世帯ごとに燃やすごみ(みどり)・燃やさないごみ(オレンジ)を設置し、ごみを収集する方法

- 24時間ごみを捨てられる。(自宅にごみを保管しなくてよい)
- 動物に荒らされにくい。
- ごみの排出者が不明確なため、分別が徹底されにくい。
- 不法投棄されやすい。
- ダストボックス付近の住民に臭いや騒音の負担が大きい。



【ステーション】

集積所に収集日ごとにごみを出す方法

- 収集日までごみを保管する必要がある。
- 動物対策として、網などを集積所に設置していることがある。
- ごみの排出者が不明確なため、分別が徹底されにくい。



【戸別】

自宅前に収集日ごとにごみを出す方法

- 収集日までごみを保管する必要がある。
- 動物対策として、網・容器などでごみを出すことがある。
- ごみの排出者が明確なので、分別が徹底されやすい。



【家庭ごみの有料化】

ごみを出すのにお金を支払う制度

- ごみを出す量に応じて、負担する金額が変わるため、ごみ減量に効果がある。

多摩地域での有料化の特徴

- 市の指定袋を購入する。
- 1袋40リットルの値段が48~80円。
- 指定袋でのごみ出しを徹底するため、戸別収集を実施する。

多摩地域での収集方法は、ダストボックスが府中市1市、ステーションが7市、戸別が18市となっています。

また、家庭ごみの収集を有料化しているのは17市、無料で収集しているのは9市となっています。

多摩地域のごみ収集方法

	有料	無料
ダストボックス		府中市
ステーション	清瀬市	国立市、立川市、小平市、東大和市、武蔵村山市、東久留米市(可燃ごみの一部はダストボックス)
戸別	稲城市、狛江市、調布市、青梅市、日野市、昭島市、福生市、多摩市、町田市、小金井市、東村山市、あきる野市、八王子市、武蔵野市、西東京市、羽村市	三鷹市、国分寺市

地域でがんばる

不法投棄のパトロールや説明会の実施など、地域のごみ減量に関する情報発信役、市と市民のパイプ役として、自治会などから地域ごみ対策推進員が選出されています。



▲つづがされていないペットボトルをつぶす推進員

平成20年度は、1,100人以上の方が地域ごみ対策推進員として活動しています。

各文化センター圏域で推進員の皆さんによる総会が開かれ、次のとおり、各文化センター圏域ごみ対策推進員の正副会長が選出されました。

また正副会長が集まる市全体の正副会長会も発足しました。なお、各圏域で街頭PRや、リサイクルプラザ見学会、学習会なども計画していきます。

オレンジのダストボックスの表示板をつける推進員▼



地域ごみ対策推進員!



志水会長より この度、文化センター圏域ごみ対策推進員協議会正副会長会で会長に選出されました志水清隆です。環境基本計画で目標としているごみの50%削減を実現するためには、ごみの分別の徹底やリサイクルをより一層推進する必要があります。また、さらなるごみ減量を進めるためには、ごみ収集方法の見直しも検討する必要があると思われます。このような中で、地域のごみ問題に取り組んでいる、私たち地域ごみ対策推進員の役割は、ますます重要になると思います。今後は、行政と協働・連携し、ごみ減量活動などに取り組んでいきますので、皆様よろしくお願いたします。

●平成20年度 文化センター圏域ごみ対策推進員協議会正副会長名簿

圏域	氏名	自治会名	圏域	氏名	自治会名
中央文化センター圏域 ごみ対策推進員協議会	会長 丸山 滉	緑町自治会	住吉文化センター圏域 ごみ対策推進員協議会	会長 沢井 政雄	分梅町第三自治会
	副会長 細谷 博	八幡町二丁目自治会		副会長 窪田 忠重	府中市住吉町町会
	副会長 芹沢 澄夫	西馬場町内会		副会長 高野 盛雄	南町西部自治会
	副会長 石田 香代子	幸町二丁目自治会		会長 窪田 竹二郎	小柳町南府中自治会
白糸台文化センター圏域 ごみ対策推進員協議会	会長 志水 清隆 ◎	白糸台西部自治会	副会長 芳永 晟	是政南町町会	
	副会長 水野 正義	白糸台東部自治会	副会長 宮川 明義	清水が丘1丁目自治会	
	副会長 戸塚 誠	白糸台3丁目下染屋自治会	会長 川又 孝生	紅葉丘二丁目町会	
	副会長 金井 亮介	若松町常久町会	副会長 亀山 輝治	多磨町会	
西府文化センター圏域 ごみ対策推進員協議会	会長 松本 幹郎 ○	本宿町1丁目自治会	副会長 荻窪 トシ江	紅葉丘第一町会	
	副会長 小澤 豊	西府町二丁目自治会	副会長 横山 龍男	若松町関ノ原自治会	
	副会長 松本 和雄	日新町東自治会	会長 高木 晴夫	押立町自治会	
	会長 奈良崎 治雄	西原町自治会	副会長 小田 元昭	コープ野村府中管理組合	
武蔵台文化センター圏域 ごみ対策推進員協議会	副会長 上野 恒春	武蔵台一丁目西町会	副会長 三井 敏雄	押立1丁目自治会	
	副会長 松 貴清	台友自治会	副会長 坂本 幹夫	ニューライフマンション自治会	
	副会長 二宮 徳郎	北山町二丁目町会	会長 土方 文男	四谷西部自治会	
	会長 木暮 利夫	晴見町三丁目町会	副会長 市川 和男	四谷自治会	
新町文化センター圏域 ごみ対策推進員協議会	副会長 友松 和彦	一栄会	副会長 松村 まゆみ	四谷1丁目自治会	
	副会長 飯塚 和人	朝日パリオ国分寺自治会	会長 丸山 誠 ○	美好町二丁目自治会	
	副会長 小嶋 君子	浅間町2丁目自治会	副会長 宮崎 金造	美好町一丁目自治会	
			副会長 五十嵐 誠	番場三丁目自治会	

(文化センター設立順、敬称略) ※ ◎は正副会長会の会長、○は副会長

集団回収にご協力ください!

市では、資源化の促進や収集処理費用の削減につながることから、集団回収へのご協力をお願いしています。

集団回収とは…

家庭から出る紙類やびん、缶などの資源を自治会や老人会、子ども会などの地域のグループが中心となって集め、直接、資源回収業者に引き渡し、リサイクルする活動です。登録団体には、回収量に応じて奨励金が交付されます。

集団回収の効果

- ★資源化が進み、ごみ減量につながります
- ★地域のリサイクルやごみ減量の意識が高まります
- ★登録団体に回収量に応じた奨励金が交付されます
- ★市の収集処理費用の削減につながります

団体登録や集団回収に関するお問合せは、**ごみ減量推進課 リサイクル係 (335・4437)** へ

生ごみの減量に取り組んでみませんか

生ごみ堆肥化容器・生ごみ処理機の補助制度

- 申請の流れ
- 1 生ごみ処理機器を購入
 - 2 市へ補助金の申請
 - 3 市から申請者へ補助金の振込

補助対象者 市民・市内事業者で、市内の住居、事業所に処理機器を設置する方

補助金額 購入金額の2分の1(上限は1万円)

申請時に必要なもの ①印鑑、②購入者の氏名・品名・金額・店名が記載された領収書、③取扱説明書または保証書、④通帳など振込先が分かるもの(購入者の名義に限る、振込先はゆうちょ銀行不可)

注意 ●補助を受けた方は、3年を経過しないと再び申し込みはできません
●ディスプレイは対象外となります
●購入後1年以内に申請してください。購入後1年を超えると補助対象外となります
●2基以上購入された場合でも、補助金の対象となるのは1基のみになります

生ごみ処理機器の補助に関するお問合せは、**ごみ減量推進課 リサイクル係 (335・4437)** へ

ごみ減量コーナー

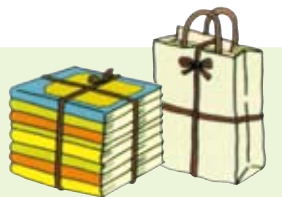
雑がみは資源です!



…雑がみとは…
ティッシュペーパーの箱、お菓子の箱、封筒、値札など

出し方

雑誌の間に挟んで出すか、紙袋にまとめて、水曜日のリサイクルか地域の集団回収に出してください



職員が試してみました

どれだけ雑がみが出るの? 3人世帯で1週間に1.7kgの雑がみが出ました。たとえば、市全世帯で1kgの雑がみをごみにせず、資源とすると、なんと…1年間で約6,000トンの減量につながります

▶ 雑がみではないもの (リサイクルできない紙)

スーパーなどのレシート、紙コップ、金色・銀色の紙、油紙、汚れた紙、カーボン紙

シュレッダーした紙も資源となります



- ★家庭でシュレッダーした紙も資源として回収を行っています
- ★紙袋かビニール袋に入れて水曜日のリサイクルに出してください